



令和3年に75周年の節目を迎えた永木精機

海外
発注可
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン

株式会社 永木精機

顧客の声を基に 安全を追求した工具生み出す

業務内容 通電中の電線を 取り扱う作業を可能に

永木精機は、主に電線や電気供給設備の工事・改修現場で使用される安全工具の専門メーカー。令和3年に、創業75周年を迎えた。

昭和21年に永木祥弘社長の祖父が起業し、ガスや水道工事用工具の製造を始めた。その後、鉄道や通信、電力といった社会インフラ整備が進むのに合わせ、現場で使う安全工具を次々に製品化していった。昭和50年代には通電したままの電線の切断や接続作業をするための絶縁工具（間接活線工具）を業界内でいち早く開発し、現在も主力製品の一つである。このほか電線を引張り、一時的に固定する張線器や、張線器なども国内外で広く使用されている。

強み 創業当時から変わらぬ ものづくりの姿勢

顧客の要望を基に製品開発を進め、独自の品質基準に沿って加工や組立を行っている。創業者は実際の工事現場に足を運び、作業者の声に耳を傾けた。社内では製品の検証や評価を繰り返し、工具の安全性や作業効率を徹底的

に追求したという。永木社長は「この姿勢や製品を生み出すプロセスは今も変わらない」と強調する。

ここ数年は社内の業務の流れや仕事の進め方を可視化することで、これまで以上に顧客の声や情報を会社全体で共有し、活用できる組織づくりを進めてきた。社内研修体制も見直し、「企業文化を未来につなぐこと」をテーマに定期的な研修会を実施している。

研究開発 現状に満足することなく 新たな発信を

生産拠点は大阪の本社工場、六ヶ所村工場（青森県）、むつテクノセンター（同）、九州工場（福岡県）の4カ所。電力会社や鉄道会社など、主要顧客は全国できめ細かく事業を展開しており、地域性を考慮した技術開発のほか、製品供給やアフターサービスの観点から各地に工場や営業所を設けている。

今後、市場の多様化や外部環境の変化に対応するため、幅広く人材を採用し、研究開発体制の強化にも力を入れるという。永木社長は「現状に満足しないという強い意思を持ち続け、会社として開発力と提案力を高め、進化し続ける永木精機を皆様にお見せしたい」と意欲を燃やす。

社長あいさつ



代表取締役社長
永木 祥弘さん

創業から75年、変わらぬものづくりへの姿勢を貫くことで顧客の安全を守り、現場での作業を支えてきました。顧客からは「永木精機に頼めば何とかしてくれる」と言われるまでの信頼をいただいています。今後もその期待に応えられるよう前進を続けていきたいと考えています。

主な保有設備

- マシニングセンタ 10台
- CNC旋盤 10台
- リベッティングマシン、プレス機など 20台

大阪03 ISO 9001
ISO 14001

住 所／〒574-0045
大東市
太子3-4-31
TEL／072-871-3456
FAX／072-871-7167
創 業／昭和21年4月
設 立／昭和44年6月
資本金／4,610万円
従業員／181名



生産現場の様子



捆線器や張線器などの主要製品